

公開講座

親子のための楽しいコンサート

幼児教育学科 准教授 河野 久寿

小学校3年生以下の子どもとその保護者を対象に、仁愛女子短期大学附属幼稚園の体育館にて幼児教育学科学生・卒業生の協力のもと「親子のための楽しいコンサート」を開催しました。コロナ禍ということもあり、マスク着用などの感染症対策を行ったうえで募集人数も制限しコンサートを行いました。

コロナ禍のコンサートでの一番の問題点は大きな声で一緒に歌うことができないことです。また約50分と長時間の中で子どもたちが退屈しないような工夫を必要とします。音楽を聞くだけでなく、手遊びや踊りを盛り込み、体を動かすことを中心とした馴染みある曲を選曲。親子で音楽を楽しめる参加型のコンサートを企画しました。



● 参加…14組37名

○ 性別

	子ども	保護者
男性(男児)	7	1
女性(女児)	14	15
合計	21	16

○ 年齢・子ども

3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
2	5	5	5	2	1	1

○ 年齢・保護者

30代	40代	50代	60代	70代
8	6	0	1	1

～コンサートプログラム～

合奏 (○) 歌 (●) 踊り (△) 手遊び (■)

1. はじまるよ (■)
2. ミッキーマウスマーチ (○●△)
3. 大きな栗の木の下で (○●△)
4. 幸せなら手を叩こう (○●△)
5. 手のひらを太陽に (○●△)
6. とんとんとんひげ爺さん (■)
7. げんこつ山のたぬきさん (■)
8. パンダウサギコアラ (■)
9. 白鳥 (クラリネットとピアノ演奏) (○)
10. 楽器紹介
11. ドレミの歌 (○●△)
12. ともだち賛歌 (○●△)
13. にじ (○●△)
14. ペンギンマークの百貨店 (■)
15. やきいもグーチーパー (■)
16. ぼよん行進曲 (○●△)



手遊びをしたり、



音楽に合わせて振り付け。



楽器紹介では楽器毎に1フレーズを演奏し、楽器の音色や特徴を子どもたちに知ってもらいました。



今年度は吹奏楽経験者としてドラムとベースを演奏できる学生が在籍し、園での演奏にて活躍しました。



ステージやピアノも可愛く飾り付け、学生自身も曲によって被り物を被ったり工夫しました。



休憩としてサン＝サーンス 組曲動物の謝肉祭より「白鳥」を曲の説明後に鑑賞。チェロの代わりにクラリネットで演奏しました。



コロナ禍の中でコンサートにて大きな声で歌うことができませんが、手遊びしたり踊ったり、観賞したり親子参加型のコンサートでした。アンケート結果でも、「とても楽しかった」「一緒に踊れたので楽しかった」「生の演奏を子どもに聴かせたかったので良かった」など感想を頂きました。今後も継続的に開催予定です。



～アンケート結果～

●講座内容について

とても満足 8 満足 3

●感想（抜粋）

- ・とても楽しかったです。また参加したいです。
- ・とても楽しかったです。ゆったりしていて良かったです。
- ・一緒に踊れたので楽しかったです。
- ・とても楽しそうに踊っていました。知っている曲ばかりで、とてもよかったです。楽器もたくさん知れて嬉しそうでした。
- ・子どもの知っている曲ばかりで、とても楽しめました。ありがとうございました。
- ・1歳の娘を家においてきたのですが、1歳の子も楽しめそうな内容でした！楽しかったです。
- ・和やかであたたかい雰囲気の中でのコンサート楽しかったです。子どもも満足していました。
- ・知っている曲がたくさんあって楽しかったようです。手あそびや踊りが少し早くて難しかったようです。タンバリンやスズなどで参加できたら、もっと楽しかったかと思います。本当の楽器と音が分かったのは良かったです。皆さん上手でした。
- ・もう少し演奏を聞きたかった。子どもにあわせて選曲して良かった。
- ・近くで生の演奏が聞いて良かった。声が子どもに馴染めるような声で良かった。楽器は座っていると楽譜で見えにくかった。立つと見えやすかった。学生さん達、頑張っていました！

